

《長崎新聞 平成 24 年 9 月 24 日朝刊より転載》

【質問】最近、あちこちで「AED 設置」と見かけますが、どんな時に使うのでしょうか。また、誰でも使えるのでしょうか。

(30歳・会社員女性)

AED

【回答】AEDは正式には「自動体外式除細動器」といいます。心臓がけいれんを起こし、ポンプとして血液を体中に送り出せなくなった状態（心室細動）に対して、電気ショックを与えて正常な動きに戻す救命器具です。

テレビドラマの救急室の場面で医師が電気ショックを行うシーンがあります。が、あれを一般の人が使えるようにした機械と思うと

電気ショックで救命措置

分かりますか？と思えます。ですから、一般の人でも使うことができます。

最近はかなり普及していて、2010年末には全国に約32万台が設置され、そのうち公共施設など一般市民が使えるのは約25万台と なりました。救急車が現場に到着する



まで平均8・1分といわれています。この間に救急蘇生を行うことが大切な命を

る。
③ 正常な呼吸をしていないと判断した場合は、周囲の安全を確認した上で、すぐに胸骨圧迫（心臓マッサージ）を開始する。胸の真ん中を少なくとも5センチ強さで、1分間に100回の早さで両手のたな

救うことになりま。倒れている人を見かけたら、次のような手順で救命措置を施してください。
① 声をかけて反応があるかどうかを確認する。
② 反応がなければ、周りの人に「救急車を呼んでください」「AEDを持ってきてください」と声をかけ

ごころで押す。人工呼吸が可能であれば、胸骨圧迫30回、人工呼吸2回を繰り返す。
④ AEDが到着したら、電源を入れて電極パッドを装着し、後はAEDの音声ガイドに従う。
⑤ 電気ショックした後も音声ガイドに従い、必要に

国内32万台、講習会参加を

応じて胸骨圧迫を救急隊員が来るまで続ける。手足が動いたり、意識が戻ったら胸骨圧迫を中止する。講習を受けていなくてもAEDを使うことは可能ですが、実際の現場に遭遇するとそう簡単にできるものではありません。あなたの勇気ある行動が、大切な人の命を救い、周りの人たちが悲しみから救うことができます。
心肺蘇生講習会は消防署や日赤県支部が定期的に行っており、各地の健康フェスティバルなどでも体験できることがあります。ぜひ一度参加してください。あなたも「命のリレー」に参加できます。
(県医師会)

質問をどうぞ この欄では県医師会が医療制度全般の質問にお答えします。質問希望の方は知りたい内容を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「医療制度Q&A」係までお送りください。不明な点をお聞きする場合がありますので住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記してください。なお、直接本人への回答はいたしません。